

# I 一般廃棄物処理事業の概要



## 1 総括事項

### (1) 県内の状況

三重県の令和2年度末の市町数は14市15町、一部事務組合は8事務組合、広域連合は3広域連合です。

令和2年10月1日現在の行政区域内人口は、1,800,585人であり、令和元年度より11,811人の減少となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (k m <sup>2</sup> )	5,774.49	4,032.00	1,742.50
世帯数 (世帯)	744,644	657,333	87,311
人 口 (人)	1,800,585	1,576,152	224,433

注1：面積と世帯数は「三重県県勢要覧(令和3年版)」記載数値、人口は一般廃棄物処理事業実態調査集計数値(世帯数は令和元年10月1日現在)

### (2) 一般廃棄物処理事業経費

#### 1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が27,910,698千円(81.7%)、特定財源が6,265,427千円(18.3%)、合計が34,176,125千円で令和元年度より22.4%の減少となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の82.4%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が2,395,178千円(7.0%)、処理及び維持管理費が29,420,328千円(86.2%)、その他2,305,339千円(6.8%)となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は1,474,584千円、し尿処理施設の建設に係る経費は920,594千円となっており、建設・改良費全体は令和元年度と比較して80.8%減少しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は24,830,910千円、し尿処理施設に係る経費は4,589,418千円となっており、処理及び維持管理費全体は令和元年度から0.9%増加しています。

注1：比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため合計が100%にならないこともある。

## 【歳入内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計
特定財源	国庫支出金	62,263	304,036	366,299
	都道府県支出金	25,737	6,622	32,359
	地方債	441,500	26,700	468,200
	使用料及び手数料	2,889,971	259,209	3,149,180
	その他	2,188,794	60,595	2,249,389
	小計	5,608,265	657,162	6,265,427
一般財源		22,553,017	5,357,681	27,910,698
合計		28,161,282	6,014,843	34,176,125

注1：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

## 【歳出内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計		
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	129,050	0	129,050	
		中間処理施設	955,693	846,811	1,802,504	
		最終処分場	376,710	0	376,710	
		その他	9,710	73,783	83,493	
	調査費	3,421	0	3,421		
	小計	1,474,584	920,594	2,395,178		
処理及び維持管理費	人件費	一般職	1,827,075	432,668	2,259,743	
		技能職	収集運搬費	2,330,330	99,067	2,429,397
			中間処理費	696,642	44,128	740,770
			最終処分費	115,356	42,022	157,378
	処理費	収集運搬費	704,098	58,402	762,500	
		中間処理費	2,495,260	1,142,232	3,637,492	
		最終処分費	372,587	90,380	462,967	
	車両等購入費	74,028	22,057	96,085		
	委託費	収集運搬費	6,427,421	474,677	6,902,098	
		中間処理費	9,198,331	2,113,600	11,311,931	
		最終処分費	426,900	40,866	467,766	
		その他	147,100	28,204	175,304	
	調査研究費	15,782	1,115	16,897		
小計	24,830,910	4,589,418	29,420,328			
その他	1,855,788	449,551	2,305,339			
合計	28,161,282	5,959,563	34,120,845			

注1：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

(3) 廃棄物処理施設

1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、8市3町4事務組合等に18施設設置され、  
処理能力は2,141.28 t / 日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化 施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	11	0	5	2	18
処理能力 (t / 日)	1,925	0	175.28	41	2,141.28

※ 令和2年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、4市1町4事務組合等に10施設設置され、  
処理能力は232.2 t / 日です。

施設種別	破碎施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	8	0	3	10
処理能力 (t / 日)	208.2	0	50	232.2

※ 令和2年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載

3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、7市6町6事務組合等に32施設設置され、  
処理能力は367.39 t / 日です。

施設種別	選別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	その他	計
施設数	19	17	3	3	32
処理能力 (t / 日)	288.43	175.53	1.86	94.00	367.39

※ 令和2年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載

#### 4) 最終処分場

最終処分場は、11市6町3事務組合等に29施設設置されており、年間埋立量は64,114m<sup>3</sup>、全体容量6,749,364m<sup>3</sup>、残余容量773,495m<sup>3</sup>です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	24	5	29
全体容量(m <sup>3</sup> )	6,348,229	401,135	6,749,364
年間埋立量(m <sup>3</sup> )	63,215	899	64,114
残余容量(m <sup>3</sup> )	721,185	52,310	773,495

※ 令和2年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

#### 5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町7事務組合等に15施設設置されており、処理能力は2,205kℓ/日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	0	4	9	9	0	15
処理能力(kℓ/日)	0	0	653	1,347	982	0	2,205

※ 令和2年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載

(4) 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

令和2年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で809人、し尿処理で107人が従事しており、ごみ処理従事者が88.3%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が43.3%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	228	57	350	138	20	16	809
し尿処理	49	15	25	16	0	2	107
合計	277	72	375	154	20	18	916

(5) 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として235件、許可業として1,587件あり、うち、収集運搬に伴う件数が93.8%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として27件、許可業として103件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で89.2%を占めています。

また、業者数としては、合計841業者、9,293人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	177	1,532	42	50	16	5	235	1,587
し尿処理	15	101	2	2	10	0	27	103
合計	192	1,633	44	52	26	5	262	1,690

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	783	106	841

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	8,403	565	363	9,293

(6) 収集運搬機材

市町・一部事務組合等、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は、8,416台、積載量は22,761tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は709台、積載量は2,985kℓです。

	ごみ収集運搬機材(積載量:t)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	249	70	42	0	584	50	51	5	6,270	1,080	0	15	
積載量	612	109	116	0	1,751	248	350	95	16,525	2,763	0	192	22,761

	し尿収集運搬機材(積載量:kℓ)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	10	0	4	0	97	17	20	2	505	25	27	2	
積載量	18	0	40	0	413	37	138	52	1,958	125	159	45	2,985



(7) 収集形態

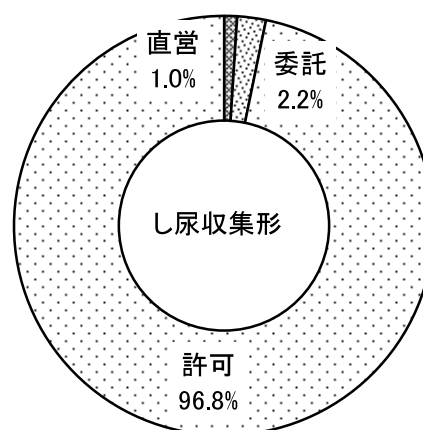
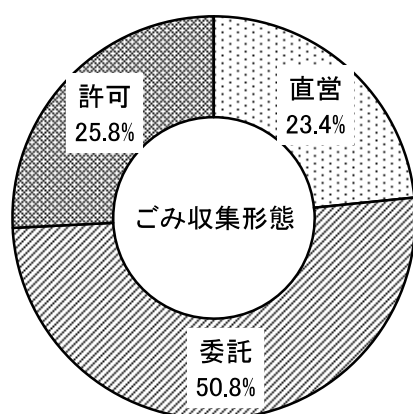
ごみの収集量は 546,136 t / 年（令和元年度比：1.2%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の収集量は 591,994kℓ / 年（令和元年度比：1.9%減少）です。

形態別のごみの収集量は、直営が 128,057 t / 年（令和元年度比：1.5%減少）、委託が 277,191 t / 年（令和元年度比：3.3%増加）、許可業者によるものが 140,888 t / 年（令和元年度比：8.7%減少）です。

形態別のし尿の収集量は、直営が 5,961kℓ / 年（令和元年度比：3.8%減少）、委託が 12,924kℓ / 年（令和元年度比：72.7%減少）、許可業者によるものが 573,109kℓ / 年（令和元年度比：4.2%増加）です。

区 分		収 集 量 ごみ：（t/年） し尿：（kℓ / 年）	構 成（%）	前年度比（%）	
ご み	市町・組合によるもの	直 営	128,057	23.4	-1.5
		委 託	277,191	50.8	3.3
		小 計	405,248	74.2	1.7
	許可業者によるもの		140,888	25.8	-8.7
	計		546,136	100.0	-1.2
	災害廃棄物		0	0.0	-100.0
合 計		546,136	100.0	-1.2	
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	5,961	1.0	-3.8
		委 託	12,924	2.2	-72.7
		小 計	18,885	3.2	-64.8
	許可業者によるもの		573,109	96.8	4.2
	合 計		591,994	100.0	-1.9

※ 構成比は、四捨五入により計と合わない場合があります。



(8) 処理形態

令和2年度におけるごみの処理量は、612,803 t / 年（令和元年度比：0.3%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の処理量は591,994kℓ / 年（令和元年度比：1.9%減少）です。

ごみの形態別処理量としては、直接焼却処理量は508,190 t / 年（令和元年度比：5.9%増加）、粗大ごみ処理量は28,992 t / 年（令和元年度比：15.8%増加）、堆肥化処理量は564 t / 年（令和元年度比：13.0%減少）、飼料化処理量は0 t / 年（令和元年度比：100.0%減少）、燃料化処理量は9,386 t / 年（令和元年度比：77.3%減少）、その他資源化等処理量は32,800 t / 年（令和元年度比：2.9%減少）、その他処理量は930 t / 年（令和元年度比：49.5%増加）、直接資源化量は26,825 t / 年（令和元年度比：1.5%増加）、直接埋立量は5,116 t / 年（令和元年度比：24.1%減少）です。また、自家処理量は345 t / 年（令和元年度比：0.9%増加）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は591,994kℓ / 年（令和元年度比：1.9%減少）です。

区 分		処理量		構 成 (%)	前年度比 (%)
		ごみ：(t/年)	し尿：(kl/年)		
ご み	処理施設による 処 理 量※	直接焼却	508,190	82.9	5.9
		粗大ごみ処理	28,992	4.7	15.8
		堆肥化	564	0.1	-13.0
		飼料化	0	0.0	-100.0
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		燃料化	9,386	1.5	-77.3
		その他資源化等	32,800	5.3	-2.9
		そ の 他	930	0.2	49.5
		直接資源化	26,825	4.4	1.5
		直接埋立	5,116	0.8	-24.1
		小 計	612,803	99.9	-0.3
	自 家 処 理	345	0.1	0.9	
	計	613,148	100.0	-0.3	
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	591,994	100.00	-1.9
		ごみ堆肥化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		下水道投入	0	0.0	前年度実績なし
		農地還元	0	0.0	前年度実績なし
		そ の 他	0	0.0	前年度実績なし
		小 計	591,994	100.0	-1.9
	自 家 処 理	0	0.0	前年度実績なし	
計	591,994	100.0	-1.9		

※施設での処理量を計上

## 2 ごみ処理

### (1) ごみ処理

ごみ処理の計画処理区域は県内全域となっており、計画収集区域内人口のうち計画収集人口は1,800,585人です。

ごみ総排出量は、622,282 t / 年で前年度比1.0%減少しています。このうち処理施設で612,803 t / 年(98.5%)処理されており、残りの大部分の11,051 t / 年(1.8%)が集団回収されています。

処理施設で処理されるもののうち、焼却施設等で処理、再資源化される量(埋立以外)は607,687 t / 年で全体の99.2%を占めています。

一方、直接埋立量は5,116 t / 年で前年度比24.1%の減少、集団回収量は11,051 t / 年で前年度比22.3%の減少です。

自家処理量は、345 t / 年であり、前年度比0.9%の増加です。

また、資源化率は20.5%となり、昨年度と比べ2.6%減少しました。

ごみの排出量の推移をみると、総排出量は、ここ数年間減少傾向にあります。今後もより一層、ごみの再資源化と併せ、住民と一体となった減量化に向けた取組を推進していく必要があります。

市町別に一人一日あたりのごみの排出量を比べると、各市町間の格差は大きい状態が続いています。

ごみの発生量についても地域格差が見られることから、管内の状況を十分把握し、将来にわたり安定した適正な処理ができるよう、地域特性に十分配慮した一般廃棄物処理計画の策定や3Rの推進について一層努めていくことが必要です。

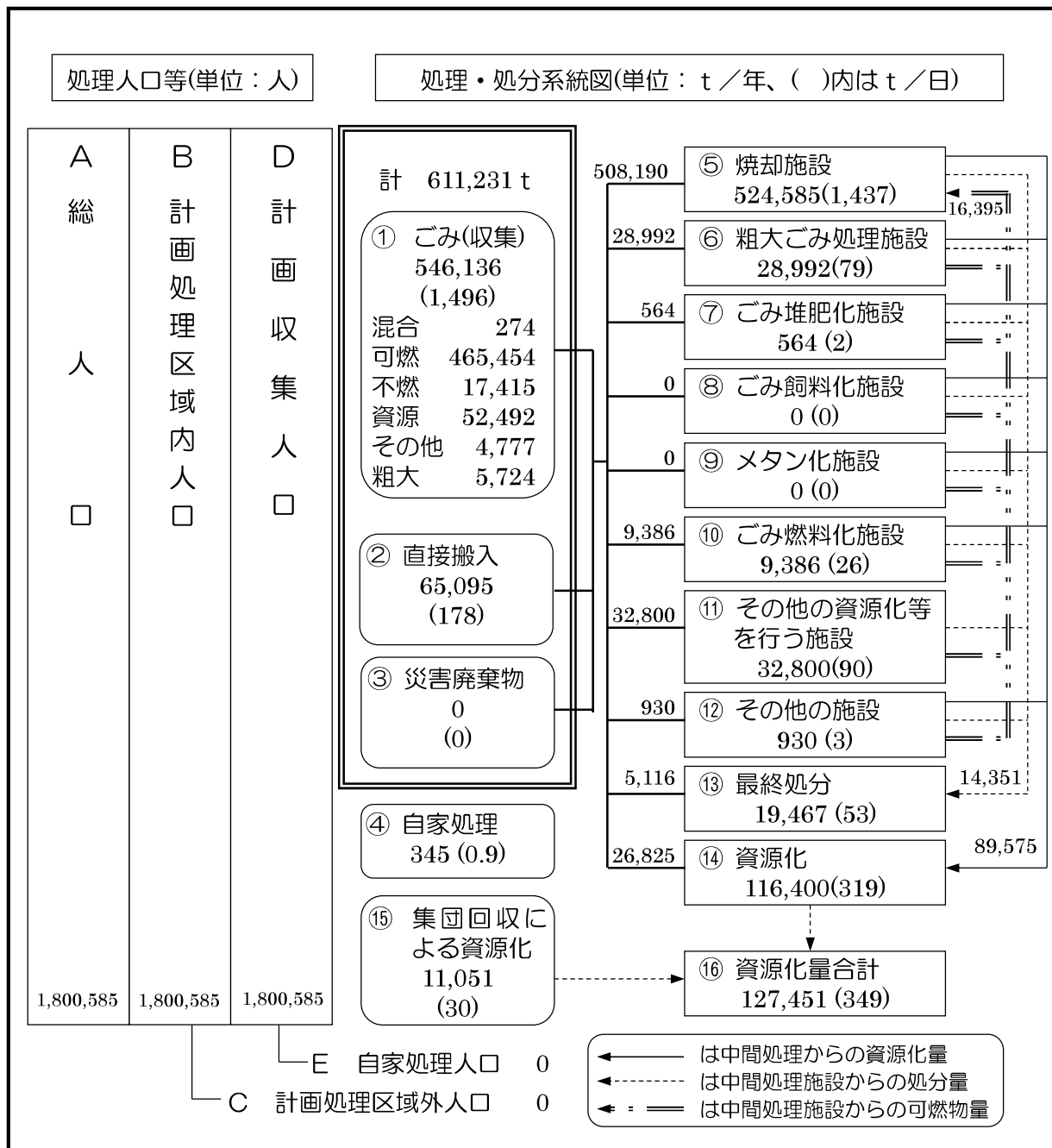
ごみ処理全体の維持管理費等の経費は、24,830,910千円であり、1tあたりの処理に要する経費は40,520円(24,830,910千円÷612,803t)となり、令和元年度と比較して159円/t高くなりました。

## (2) ごみ処理の状況

項目		数値	単位		
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5,774.49	km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,800,585	人	
	計画収集人口		1,800,585	人	
	自家処理人口		0	人	
収集形態別内訳	収集ごみ	市町・組合によるもの	直 営	128,057	t/年
			委 託	277,191	t/年
			小 計	405,248	t/年
		許可業者によるもの		140,888	t/年
		計		546,136	t/年
	直接搬入ごみ		65,095	t/年	
	災害廃棄物		0	t/年	
	合 計		611,231	t/年	
処理内訳	処理形態別内訳		直接焼却	508,190	t/年
			粗大ごみ処理	28,992	t/年
			堆肥化	564	t/年
			飼料化	0	t/年
			メタン化	0	t/年
			燃料化	9,386	t/年
			その他資源化等	32,800	t/年
			そ の 他	930	t/年
			直接資源化	26,825	t/年
			直接埋立	5,116	t/年
			小 計	612,803	t/年
集 団 回 収 量		11,051	t/年		
総 排 出 量		622,282	t/年		
自 家 処 理 量		345	t/年		
総 排 出 量 (参考)		611,576	t/年		

※「総排出量(参考)」＝「収集ごみ量」＋「直接搬入ごみ量」＋「自家処理量」＋「災害廃棄物」

(3) ごみ処理のフロー図



【三重県】

- 計画収集区域率  $B/A \times 100 = 100\%$
- 計画収集量 ① = 546,136 t/年
- 総排出量 ① + ② + ③ + ⑮ = 622,282 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量  $(① + ② + ③ + ⑮) \times 10^6 / (B \times 365) = 947 \text{ g/人} \cdot \text{日}$
- 資源化率  $⑯ / (① + ② + ③ + ⑮) \times 100 = 20.5\%$
- 再利用率  $(⑯ - (⑮ + ⑩ \text{からの資源化量} + ⑤ \text{からの資源化量})) / (① + ② + ③) \times 100 = 12.0\%$
- 減量処理率  $(① + ② + ③ - ⑬) / (① + ② + ③) \times 100 = 96.8\%$
- 計画処理量  $D/A \times 100 = 100\%$
- 計画処理量 ① + ② + ③ = 611,231 t/年

【全国】※災害廃棄物を除く。(出典：日本の廃棄物処理 令和元年度版)

- 総排出量 4,274 万 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量 918 g/人・日
- 資源化率 19.6%
- 計画処理量 4,083 万 t/年
- 減量処理率 99.0%

※再利用率  $(⑯ - ⑮ - (\text{溶融スラグ} + \text{固形燃料} + \text{セメント原料} + \text{山元還元})) / (① + ② + ③) \times 100$

(4) ごみ処理形態の推移

項目 / 年度	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総人口	人	1,800,585	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621
計画処理区域内人口	人	1,800,585	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621
計画収集量	t/年	546,136	552,665	553,688	556,704	556,872
直接搬入量	t/年	65,095	61,319	60,052	56,297	61,784
集団回収量	t/年	11,051	14,228	14,875	16,771	17,737
災害廃棄物	t/年	0	91	0	1,449	0
ごみ総排出量	t/年	622,282	628,303	629,059	631,221	636,393
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	947	947	947	945	950
自家処理量	t/年	345	342	330	335	334
ごみ総排出量(参考)	t/年	611,576	614,417	614,070	614,785	618,990
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	931	926	924	921	924
直接焼却量	t/年	508,190	479,737	438,992	435,551	439,336
直接資源化量	t/年	26,825	26,421	27,861	28,574	30,466
直接埋立量	t/年	5,116	6,737	10,409	7,572	6,443
堆肥化量	t/年	564	648	1,385	1,309	1,289
その他中間処理量	t/年	72,108	100,924	141,178	141,342	140,462
計	t/年	612,803	614,467	619,825	614,348	617,996
最終処分量	t/年	19,467	22,015	24,551	21,807	20,963
生活系ごみ	t/年	450,306	441,152	439,409	435,267	439,321
事業系ごみ	t/年	160,925	172,832	174,331	177,734	179,335
資源化率	%	20.5	23.1	26.7	27.3	27.4
再利用率	%	12.0	11.7	12.3	12.4	13.5
項目 / 年度	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
総人口	人	1,836,741	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107
計画処理区域内人口	人	1,836,741	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107
計画収集量	t/年	562,951	571,059	568,588	572,015	570,442
直接搬入量	t/年	61,187	56,798	65,356	62,857	58,512
集団回収量	t/年	20,618	23,044	25,424	24,630	25,188
災害廃棄物	t/年	22	0	63	2,942	17,615
ごみ総排出量	t/年	644,778	650,901	659,431	662,444	671,757
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	959	976	986	980	993
自家処理量	t/年	329	329	376	406	384
ごみ総排出量(参考)	t/年	624,489	628,186	634,383	638,220	646,953
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	929	942	948	976	967
直接焼却量	t/年	424,243	421,237	412,954	414,512	408,136
直接資源化量	t/年	32,890	35,755	40,827	47,889	46,488
直接埋立量	t/年	17,756	19,429	27,242	20,076	24,332
堆肥化量	t/年	1,350	1,391	1,438	1,488	2,178
その他中間処理量	t/年	147,920	150,045	151,546	153,849	165,435
計	t/年	624,159	627,857	634,007	637,814	646,569
最終処分量	t/年	36,049	37,776	50,042	41,958	50,893
生活系ごみ	t/年	445,144	452,644	452,506	456,747	455,689
事業系ごみ	t/年	178,994	175,213	181,438	178,125	173,265
資源化率	%	28.5	29.7	30.4	30.5	31.1
再利用率	%	14.5	15.1	15.5	15.9	16.2

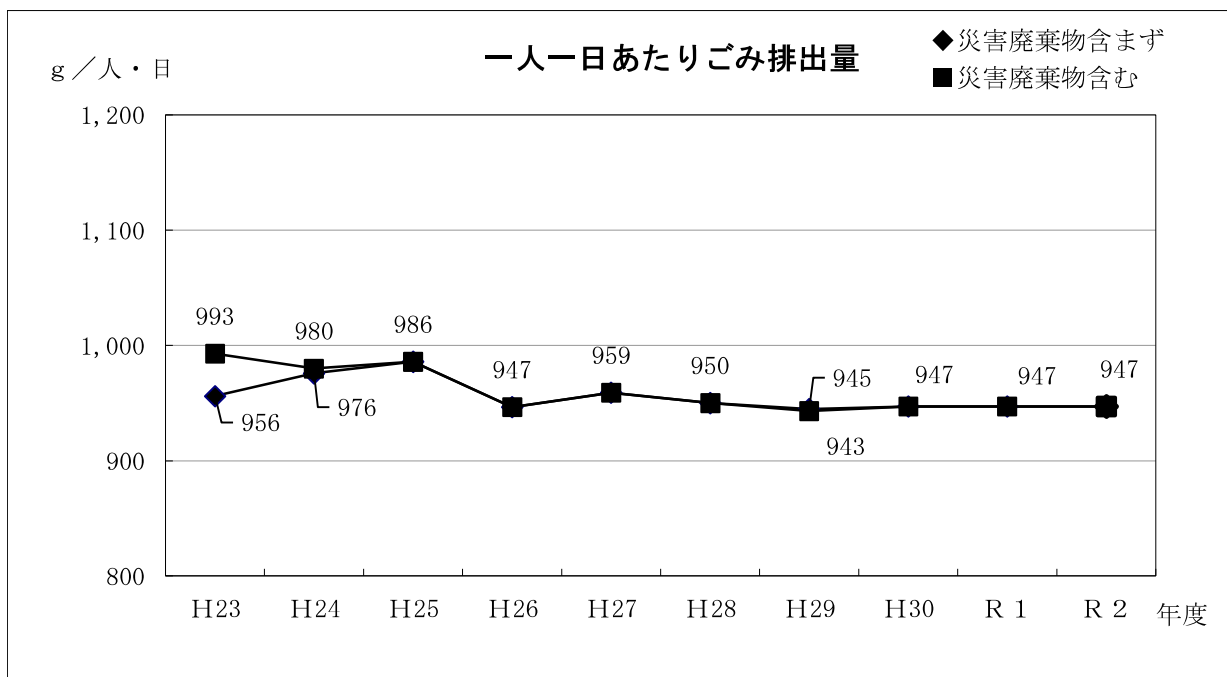
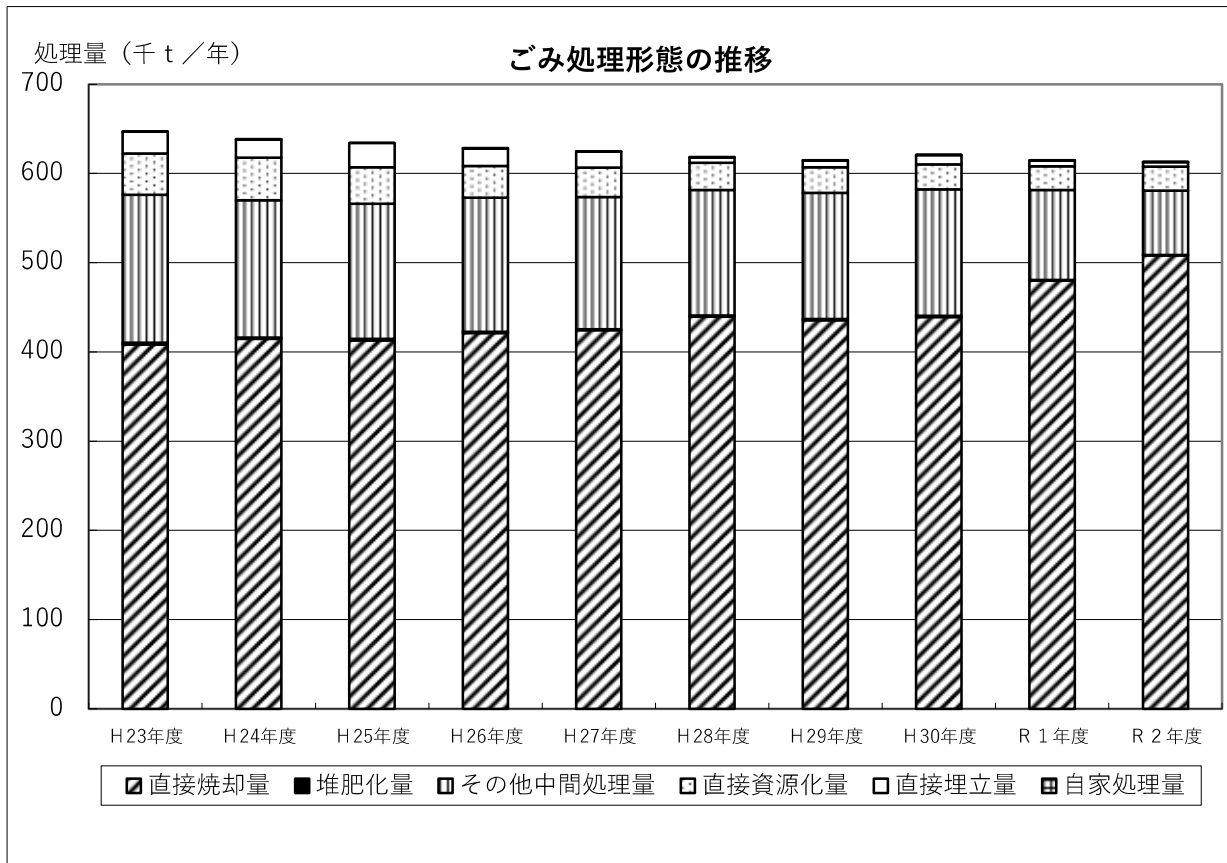
※ 「その他中間処理量」とは、中間処理施設(「焼却施設」、「ごみ堆肥化施設」を除く。)による処理量です。

※ 「生活系ごみ」には、「集団回収量」は含んでいません。

※ 平成23年度実績より、災害廃棄物が別集計となったため、項目を追加しています。

災害廃棄物は、生活系・事業系の区分はありません。

※ 「総排出量(参考)」=「収集ごみ量」+「直接搬入ごみ量」+「自家処理量」+「災害廃棄物」



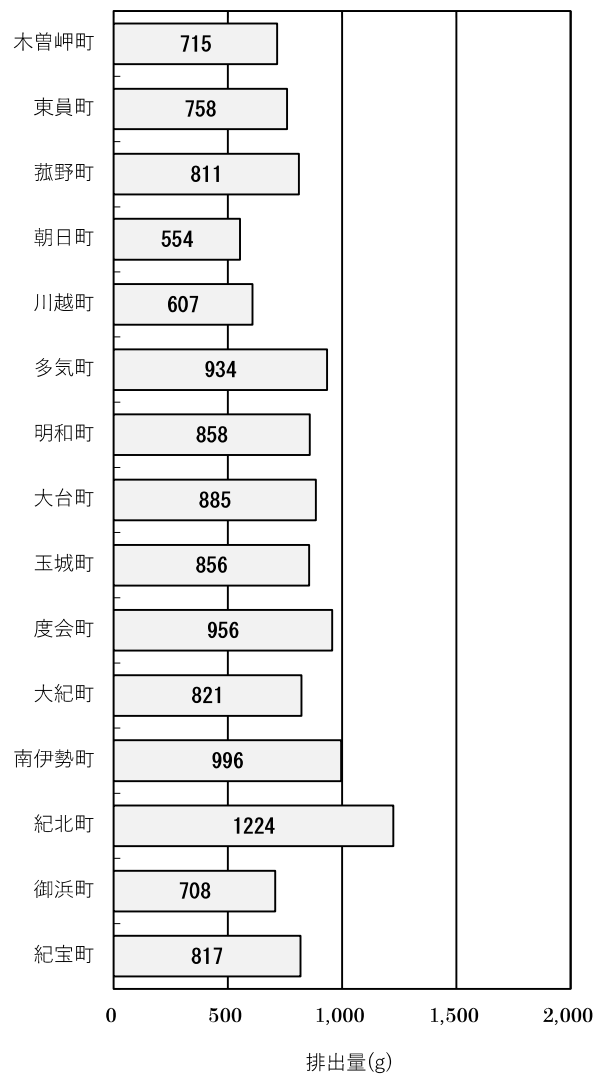
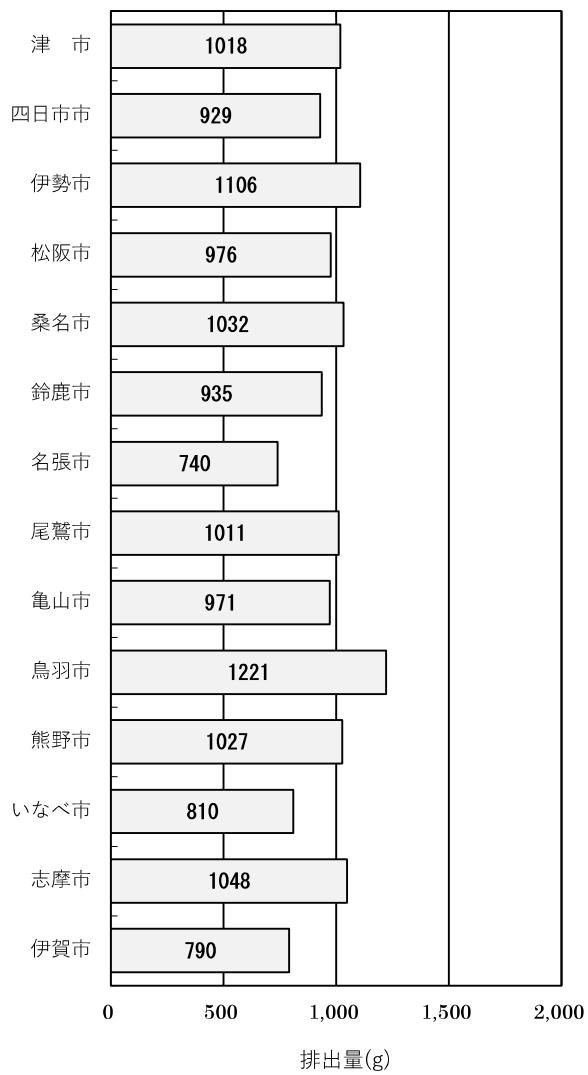


## (5) 1人1日あたりのごみ排出量

(g/人・日)

市町名	令和2年度 実績	令和元年度 実績	平成30年度 実績	平成29年度 実績
津市	1,018	1,020	1,007	1,008
四日市市	929	952	948	948
伊勢市	1,106	1,121	1,135	1,145
松阪市	976	984	974	967
桑名市	1,032	940	932	924
鈴鹿市	935	944	939	939
名張市	740	730	726	734
尾鷲市	1,011	1,041	1,052	1,022
亀山市	971	941	999	1,015
鳥羽市	1,221	1,383	1,427	1,368
熊野市	1,027	1,055	1,028	1,035
いなべ市	810	757	755	756
志摩市	1,048	1,065	1,045	1,024
伊賀市	790	786	743	783
木曾岬町	715	686	636	628
東員町	758	746	741	759
菰野町	811	805	793	795
朝日町	554	533	528	543
川越町	607	586	591	573
多気町	934	1,065	1,652	1,170
明和町	858	855	887	861
大台町	885	886	921	888
玉城町	856	885	853	1,088
度会町	956	823	817	785
大紀町	821	833	853	853
南伊勢町	996	995	991	985
紀北町	1,224	1,214	1,241	1,202
御浜町	708	708	706	683
紀宝町	817	889	801	791
県平均	947	947	947	945

【1人1日あたりのごみ排出量】



### 3 し尿処理

#### (1) し尿処理

し尿処理の計画処理区域は県内全域になっており、計画処理区域内人口は1,800,585人であり、そのうち水洗化人口は、1,703,991人(94.6%)、非水洗化人口は96,594人(5.4%)です。

水洗化人口の内訳は、公共下水道人口978,903人(57.4%)、浄化槽人口721,703人(42.4%)、コミュニティ・プラント人口3,385人(0.2%)です。また、非水洗化人口のうち計画収集人口は96,594人(100.0%)、自家処理人口は0人(0.0%)です。

令和元年度と比べると、水洗化人口では下水道人口が19,007人増加、コミュニティ・プラント人口が4人減少、浄化槽人口が26,480人減少しています。

なお、非水洗化人口のうち、計画収集人口は、4,334人減少しています。

し尿の計画収集量は、し尿が92,855kℓ／年(15.7%)、浄化槽汚泥が499,139kℓ／年(84.3%)で収集総量は591,994kℓ／年です。また、自家処理量は、0kℓ／年です。

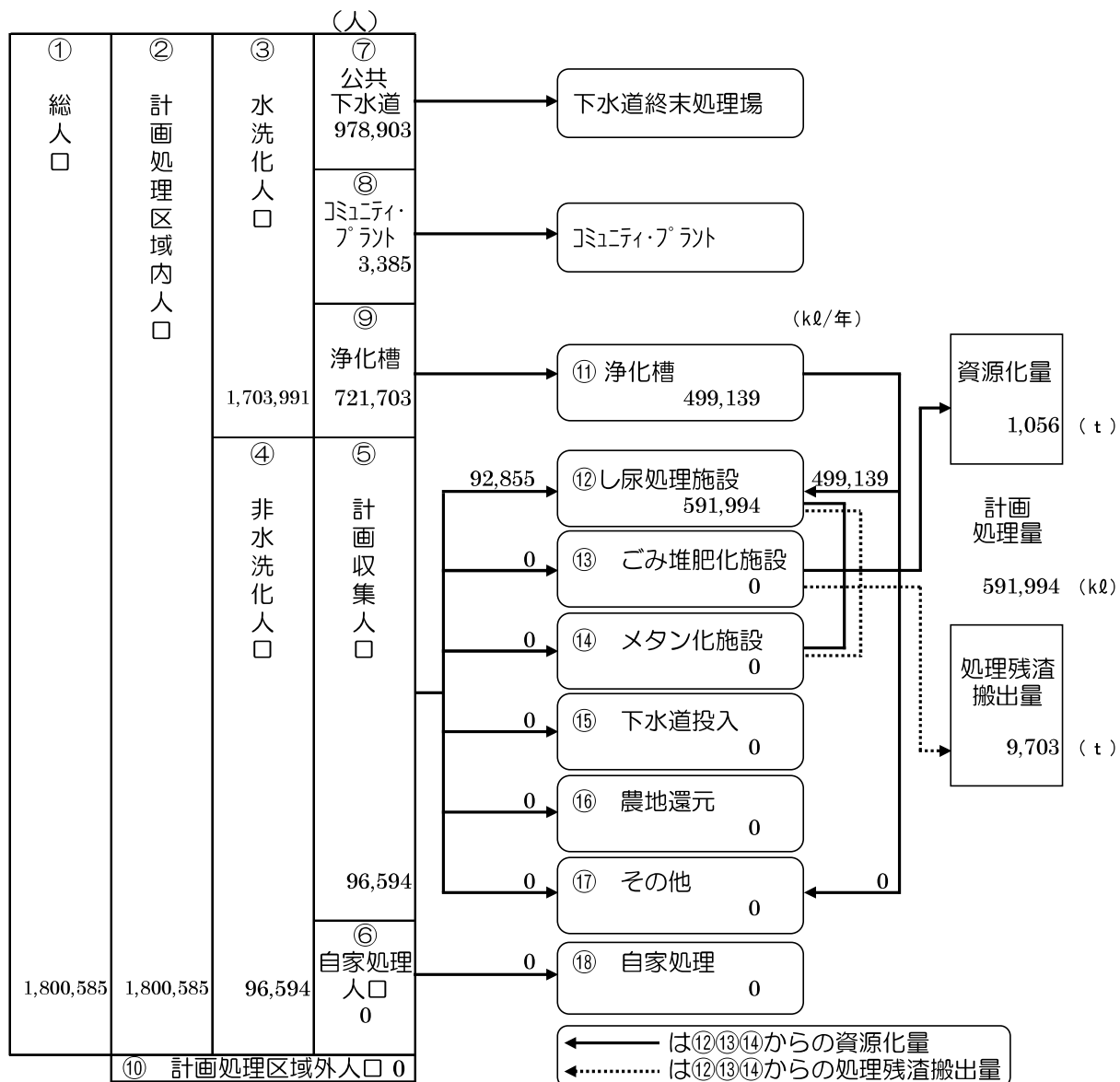
令和元年度と比べると、計画収集総量は11,750kℓ／年減少し、自家処理量は増減がありませんでした。

し尿処理全体の維持管理費等の経費は、4,589,418千円であり、1kℓあたりの処理に要する経費は7,752円(4,589,418千円÷591,994kℓ)となり、令和元年度と比較して528円/kℓ高くなりました。

## (2) し尿処理の状況

項目		数値	単位		
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5,774.49	km <sup>2</sup>	
	計画収集区域内人口		1,800,585	人	
	水洗化人口	公共下水道人口		978,903	人
		コミュニティ・プラント人口		3,385	人
		浄化槽人口		721,703	人
		内訳	単 独 浄 化 槽 人 口	191,406	人
			合 併 浄 化 槽 人 口	530,297	人
		水洗化人口 計		1,703,991	人
	非水洗化人口	計画収集人口		96,594	人
		自家処理人口		0	人
非水洗化人口 計		96,594	人		
収集形態別内訳	市町・組合によるもの		直 営	5,961	kℓ / 年
			委 託	12,924	kℓ / 年
			小 計	18,885	kℓ / 年
	許可業者によるもの		573,109	kℓ / 年	
	計		591,994	kℓ / 年	
種類別内訳	し尿		92,855	kℓ / 年	
	浄化槽汚泥		499,139	kℓ / 年	
	計		591,994	kℓ / 年	
処理内訳	処理形態別内訳		し尿処理施設	591,994	kℓ / 年
			ごみ堆肥化施設	0	kℓ / 年
			メタン化施設	0	kℓ / 年
			下水道投入	0	kℓ / 年
			農地還元	0	kℓ / 年
			そ の 他	0	kℓ / 年
			小 計	591,994	kℓ / 年
自 家 処 理 量		0	kℓ / 年		
総 排 出 量		591,994	kℓ / 年		

(3) し尿処理のフロー図



- ・ 計画処理率 (②/①) = 100% (人口ベース)
- ・ 水洗化率 (③/①) = 94.6%
  - 公共下水道水洗化率 (⑦/①) = 54.4%
  - コミュニティ・プラント水洗化率 (⑧/①) = 0.2%
  - 浄化槽水洗化率 (⑨/①) = 40.1%
- ・ 非水洗化率 (④/①) = 5.4%
  - 総人口における計画収集率 (⑤/①) = 5.4%
  - 非水洗化人口における計画収集率 (⑤/④) = 100.0%
  - 総人口における自家処理率 (⑥/①) = 0.0%
  - 非水洗化人口における自家処理率 (⑥/④) = 0.0%

(4) し尿処理の内訳

処 理 内 訳

(収集し尿処理内訳比率)

し尿処理施設  
591,994  
kℓ /年  
100.0%

施設数と処理能力

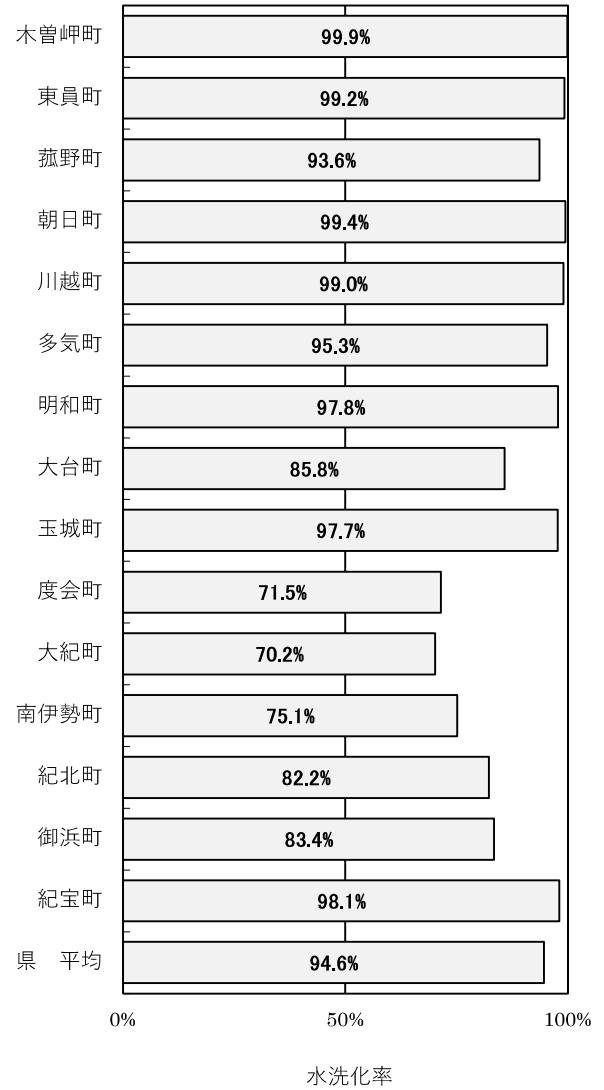
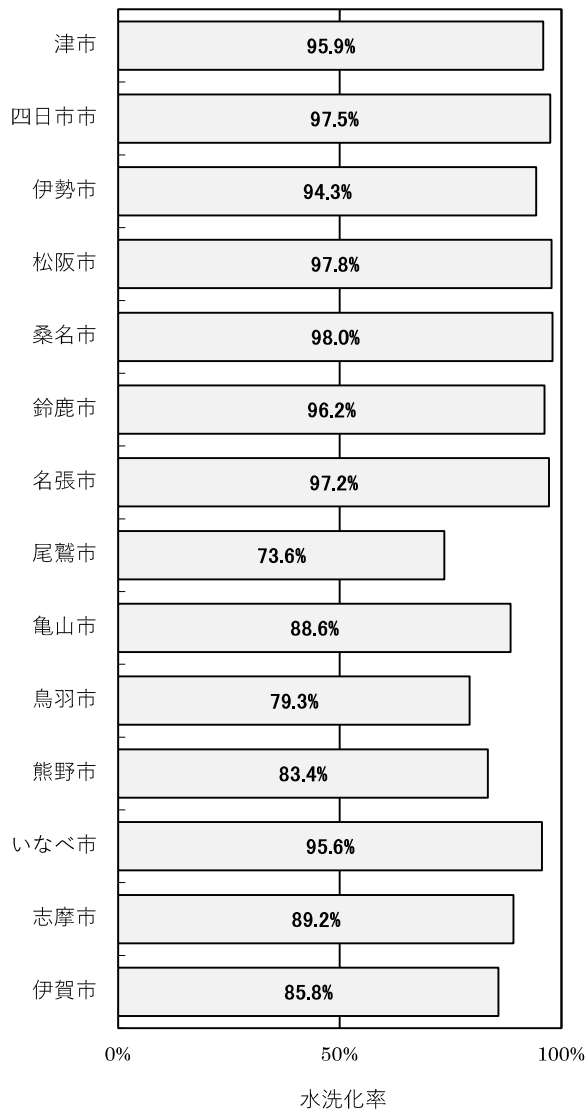
施設種別	施設数	公称能力 (kℓ /日)
嫌気性処理方式	0	0
好気性処理方式	0	0
標準脱窒素方式	4	653
高負荷脱窒素方式	9	1,347
膜分離方式	9	982
下水投入方式	0	0
計	15	2,205

※ 令和2年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

- ・ 計画処理量（含む浄化槽汚泥）  $(12) + (13) + (14) + (15) + (16) + (17) = 591,994 \text{ kℓ /年} \dots\dots a$
- ・ 総処理量（計画処理量＋自家処理）  $(12) + (13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) = 591,994 \text{ kℓ /年} \dots b$
- ・ し尿処理施設及び下水道投入による処理率  
 $(12) + (15) / a = 100.00\%$
- ・ 1人1日あたりのし尿計画処理量  
 $((a - (11)) \times 10^3) / ((5) \times 365) = 2.63 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿排出量  
 $((b - (11)) \times 10^3) / ((4) \times 365) = 2.63 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥計画処理量  
 $((11) \times 10^3) / ((8) + (9)) \times 365 = 1.89 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥排出量  
 $((11) \times 10^3) / ((8) + (9)) \times 365 = 1.89 \text{ ℓ /人・日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿及び浄化槽汚泥排出量  
 $(b \times 10^3) / ((4) + (8) + (9)) \times 365 = 1.97 \text{ ℓ /人・日}$

(5) 水洗化率



(6) し尿処理形態の推移

項目/年度	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
計画処理区域内人口	人	1,800,585	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621
水洗化人口	人	1,703,991	1,711,468	1,708,939	1,728,767	1,721,013
公共下水道	人	978,903	959,896	966,920	940,787	892,401
コミュニティ・プラント	人	3,385	3,389	3,065	3,369	3,311
浄化槽	人	721,703	748,183	738,954	784,611	825,301
非水洗化人口	人	96,594	100,928	111,792	100,978	113,608
し尿処理施設	kl/年	591,994	603,744	614,904	613,535	620,050
下水道投入	kl/年	0	0	0	0	0
海洋投入	kl/年	-	-	-	-	-
その他	kl/年	0	0	115	154	145
計(a)	kl/年	591,994	603,744	615,019	613,689	620,195
自家処理量(b)	kl/年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	kl/年	591,994	603,744	615,019	613,689	620,195
項目/年度	単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
計画処理区域内人口	人	1,836,741	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107
水洗化人口	人	1,716,778	1,698,196	1,694,666	1,677,922	1,654,116
公共下水道	人	879,245	835,503	831,930	819,415	791,624
コミュニティ・プラント	人	3,332	7,166	3,340	3,390	3,426
浄化槽	人	834,201	855,527	859,396	855,117	859,066
非水洗化人口	人	119,963	129,399	138,390	173,703	193,991
し尿処理施設	kl/年	614,271	624,576	629,269	639,235	632,239
下水道投入	kl/年	9,142	9,413	9,552	10,085	9,891
海洋投入	kl/年	-	-	-	-	-
その他	kl/年	162	163	163	137	70
計(a)	kl/年	623,575	634,152	638,984	649,457	642,200
自家処理量(b)	kl/年	0	0	3	3	6
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	kl/年	623,575	634,152	638,987	649,460	642,206



